

【参考1】

福祉バスご利用の皆様へ

どうやって行程を組みればいいかわからない、という方はぜひご参考にしてください。

福祉バス見学行程作成について

※福祉バスガイドラインを確認したうえで行程を考えてください。

◎集合・解散場所	<ul style="list-style-type: none">・集合・解散場所は1ヶ所（途中乗車・下車は不可）・周囲の安全やバスの方向転換が必要となる場合もあるため、できるだけ駐車場など広い場所を選定<ul style="list-style-type: none">※スーパーなどの駐車場の場合は、あらかじめ使用許可を・集合場所が道路上である場合、他の交通の妨げになることや危険が伴う場合があるため、方向転換、通り抜けができるかを確認
◎見学施設 ・コース設定	<ul style="list-style-type: none">・集合場所の出発時間は9時30分以降に設定（バスは9時頃川岸町車庫を出発のため）・解散場所には概ね15時30分頃には到着できるように・移動に要する時間は、自家用車で移動するより若干長めを設定・原則として、「福祉バスのご案内」に記載されている施設から見学先を選定・テーマや目的はしっかり設定し、テーマに沿って一貫性を持った施設を選定（理解が深まり記憶に残りやすくなるため）・見学する施設は、移動時間・距離を考慮し可能な限り方面をまとめるようにコースを組む・コースが決まったら、各施設へ予約（団体名、代表者の連絡先、人数）・各施設での案内や解説時間は、パンフレットに記載。所要時間は、見学して理解してもらうのに必要な時間のため、むやみに短縮しないように・昼休み（12時～13時）に食い込んでの見学は、対応できない場合があるため極力避ける
◎昼食	<ul style="list-style-type: none">・昼食場所・時間を決める・昼食時間は60分以上（ドライバーの休憩も兼ねるため。見学と続けて同じ施設で昼食をとる場合は「見学+昼食」で合計1時間以上確保できればOK）・昼食の手配（ドライバーの分は不要）<ul style="list-style-type: none">※「福祉バスのご案内」に掲載中の施設内にある食堂利用または弁当持参※食堂のある施設は、「福祉バスのご案内」に◎で表示・見学施設内の和室や会議室を昼食会場として使用する場合は、見学の予約時に併せて、会場の予約も忘れずに・老人憩いの家や老人福祉センターもご利用できます。

◎有料施設の入館料	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の代表がまとめて支払う ※団体料金が適用される場合があるので必要に応じて確認
◎車内について	<ul style="list-style-type: none"> ・トランクはなし。仕出し弁当や飲み物、歩行補助具（手押し車）等は、バス内の空いているスペースを利用 ※満席の場合は注意が必要
◎利用車両	<ul style="list-style-type: none"> ・①リフトバス…定員21名（通常座席14席＋補助席7席） ＋車いす固定席2席 ※最小運行人数10名 ・②中型バス …定員45名（通常座席36席＋補助席9席） ※最小運行人数20名 (補助席と非常口席はシートベルトなし)
◎参加人数（概数でよい。見学施設の予約に必要）	<ul style="list-style-type: none"> ・人数の変更があった場合は、1週間前位に各施設へ連絡（見学施設によっては、定員が決まっている施設があるため、大幅に人数が増える場合は、早めの連絡がおすすめ）

●各区についてじっくり見学しよう（参考）

- ◆**北区** ・県立環境と人間のふれあい館～ビュー福島潟（昼食）～北区郷土博物館
- ◆**東区** ・山の下みなとタワー～新潟空港(昼食)～山の下閘門排水機場
- ◆**中央区** ・旧小澤家住宅～砂丘館（昼食）～安吾風の館～旧齋藤家別邸
- ◆**江南区** ・北方文化博物館(本館)～中央卸売市場(昼食)～舞平清掃センター
- ◆**秋葉区** ・新津鉄道資料館～花とみどりのシンボルゾーン（昼食）～弥生の丘展示館
- ◆**南区** ・しろね大凧と歴史の館～郷土物産資料室（昼食）～笹川邸、曾我・平澤記念館
- ◆**西区** ・新潟市衛生環境研究所～新潟ふるさと村(昼食)～県水産海洋研究所
- ◆**西蒲区** ・潟東樋口記念美術館～新潟市岩室観光施設 いわむろや（昼食）～澤将監の館